



エデュアルド・チャドウィック氏は、チリの名門チャドウィック・エラスリス家の5代目当主。マーケティングを担当する長女のマギーさんと来日した

新ヴィンテージは理想的なフィネス！ 「チャドウィック」のアイコン・ワイン

「2016年ヴィンテージは、私が求めるフィネスとエレガントさを持つ、理想的なワインだと思います」と語るのは、フラッグシップワイン「ドン・マキシミアノ」を擁する「ヴィニエド・エラスリス」の当主、エデュアルド・チャドウィック氏だ。チャドウィック氏は「ヴィニエド・チャドウィック」と、故ロバート・モンダヴィ氏とのジョイントベンチャーとして設立された「ヴィニエド・セーニャ」のオーナー兼社長でもある。いずれのワインも世界中で高く評価され、今やウルトラプレミアムワインとして知られている。

この9月にリリースされた2016年ヴィンテージについて、3つのアイコン・ワインの特徴を聞いた。

「2016年は、この10年間で最も冷涼な気候でした。そのためブドウの熟成には時間がかかりましたが、雨の被害もなく非常にいいブドウに育ちました。まず『ドン・マキシミアノ』は、カベルネ・ソーヴィニオンを主体とするワインで、アコンカグア・ヴァレーの多様なテロワールが感じられる。フルーティーで凝縮感がありながら、ジューシさも楽しめます。例年より冷涼だったことで、力強さはやや控えめに

チリのファインワインを牽引し続け

「デキャンター・マン・オブ・ザ・イヤー」を

2018年に受賞したエデュアルド・チャドウィック氏。

最近リリースされたアイコン・ワインの

2016年ヴィンテージについて聞いた。

text by Go FUKUSAKI
photograph by Koumei KADOWAKI

Chadwick

なり、心地いいフレッシュな酸と果実味のバランスがエレガントにまとまっています。

同じアコンカグア・ヴァレーでも「セーニャ」は太平洋から約40km内陸にあるためより涼しく、ビオダイナミ農法でブドウを栽培しています。評論家のジェームス・サックリング氏は、15年に100点満点、16年に99点を付けた。また16年はロバート・パーカー氏の「ワイン・アドヴォケート」ではチリの赤ワイン史上最高得点の97ポイントが付き、4年連続でチリの「ベスト・レッド・ワイン」に選ばれた。

「そして『ヴィニエド・チャドウィック』は、マイボ・ヴァレーの最高峰のカベルネ・ソーヴィニオンを表現したワイン。小岩がゴロゴロした水捌けのいい標高650〜700メートルの山裾に広がる自社畑で育つブドウは、ピュアな果実味とシルキーなタンニンが備わります。16年は例年より収穫は遅くなりましたが、じっくり熟したことで緻密な味わいとなり、余韻も長く、スパイシさと複雑さが増しました」

16年が冷涼だったことでブドウの成熟期間が長くなり、洗練された果実味がより繊細に表れたと言える。その結果、チャドウィック氏自身が「理想的」と評するほど繊細でエレガントな、奥深いワインの世界が堪能できる仕上がりとなっている。

*カドワキ・シユタイナーが提唱した有機栽培農法の一環



『ヴィニエド・チャドウィック 2016年』

品種：カベルネ・ソーヴィニオン 97%、
プティ・ヴェルド 3%
参考価格：6万5000円

※2016年ヴィンテージは年末発売開始予定 ※価格は税別



『ドン・マキシミアノ 2016年』

品種：カベルネ・ソーヴィニオン 69%、
マルベック 12%、プティ・ヴェルド 8%、
カルメネール 8%、カベルネ・フラン 3%
参考価格：1万2000円



『セーニャ 2016年』

品種：カベルネ・ソーヴィニオン 55%、マルベック 20%、
プティ・ヴェルド 12%、カルメネール 8%、
カベルネ・フラン 5%
参考価格：2万6000円